

要支援者の個別避難計画について

政進会 宇田川 希

問 これまで国の取組指針で作成が求められていた避難行動要支援者の個別計画については、令和3年に災害対策基本法が改正され、市町村の努力義務として個別避難計画の作成が同法に規定されました。本市ではこれまでも要支援者の災害時における支援に取り組んでいますが、個別避難計画の進捗状況について伺います。

答（市長）：令和6年度に指定福祉避難所を指定し個別避難計画の作成方法を見直しました。令和7年度から避難支援の優先度を整理し、外部委託を含めて進めていく予定です。

問 計画を作成するにあたり、優先順位の設定方法および対象人数について伺います。

答（保健福祉部長）：優先順位は、避難行動要支援者登録制度における要支援の要件に当てはまり、個別避難計画の作成に同意いただいた方のうち、支援度や介護度が高く、災害リスクが高い場所に居住している方を優先度が高い方として順次作成を進めてまいります。対象人数は、高齢者が667人、障がい者が1071人で合計1738人です。

問 個別避難計画の作成に向けた具体的な進め方について伺います。

答（保健福祉部長）：避難行動要支援者登録制度に同意された方のうち、計画作成の優先度を整理し、優先度の高い方から計画作成の同意を確認します。同意をいただいた場合は、要支援者本人かその家族などが計画を作成し、市に提出していただきます。作成が難しい場合は、市が業務委託した福祉専門機関などが作成のサポートを行う予定です。

その他の質問

- ・学校給食費の保護者負担軽減について
- ・健康経営について

不登校児家庭への進路対応について
聴覚障がい施策の充実について

公明党 星 伸一

問 不登校の中学生のご家庭では進学先の情報が得にくいと思います。本人に即した可能性をより広げてあげられる進路相談や情報提供が必要と思いますが現状を伺います。

答（教育支援担当部長）：通常より早期の支援や、気持ちに寄り添った慎重で丁寧な対応が必要だと考えています。市は不登校支援ボランティアグループ「ぼちぼち」と合同で、本人や保護者が各種学校などと相談したり、不登校経験者の体験談を聞いたりできる進路相談会を行っています。

問 中学校卒業後の実際の進路の状況を伺います。

答（教育支援担当部長）：県内の公立高校は不登校などの理由で成績が整わなくても受検できるほか、面接や自己表現検査などだけで筆記試験がないクリエイティブスクールという全日制の県立高校もあります。さらに通信制高校、サポート校、専修学校などが進学先になっています。

問 聴覚障がい施策について、また、今年11月に日本で開催されるデフリンピックの周知について伺います。

答（市長）：デフリンピックは4年に1度開催される国際的な聴覚障がい者のスポーツ大会です。会場は主に東京都内で県内にはありませんが、周知啓発に取り組み機運を醸成したいと考えており、聴覚障がい者の団体から要請があれば、できることはやっていきたいと思っています。

答（保健福祉次長）：聴覚障がいの方には補聴器、来客や家庭内の音を知らせる屋内装置などの給付、病院などに同行する手話・要約筆記者の派遣などを行っており、会議や講演会などではヒアリンググループを活用しています。

その他の質問

- ・物価高騰対策の施策について



えび〜くるの利用状況と今後について

政進会 藤澤 菊枝

問 デマンド型の高齢者外出支援として、令和6年6月に実証運行が開始されたえび〜くるは、高齢者の生活の質を向上させる画期的な取り組みですが、運行開始からこれまでの利用状況はいかがでしょう。

答（市長）：令和7年2月末時点の利用登録者数は1465人で、延べ6855人に利用されています。令和6年8月に利用登録者向けに実施したアンケート結果から、多くの高齢者から好評をいただいていると認識しています。

答（保健福祉部長）：令和7年2月の利用状況は、1日あたり45人、1台あたり11人です。病院やスーパーに向かうための利用が多い状況です。

問 アンケートでは、利用者から具体的などのような意見があったのか、伺います。

答（保健福祉部長）：利用登録者728人のうち、516人から回答がありました。回答者の約半数が実際に利用された方で、そのうちの約6割から「外出意欲が湧いた」と回答があったことから、介護予防につながるものと期待しております。そのほか、「自宅前で乗り降りできてありがたい」や、「家族に頼みづらいという外出時の悩みが減った」などの好意的な意見が多い結果でした。

問 令和7年度の事業予定について伺います。

答（保健福祉部長）：利用者の声を踏まえて、実証運行期間の終了を令和7年5月末から同年10月末に変更する予定です。運行内容の見直しなどを行い、持続可能な事業として、より高齢者が利用しやすいものを目指してまいります。

その他の質問

- ・災害状況を踏まえた今後の取り組みについて



市内を走るえび〜くる